

戦争法廃止、共謀罪阻止を訴えながらピラを配布する岐阜九条の会の人たち＝9日、名鉄岐阜駅前



事実隠す安倍政権を批判 岐阜九条の会

戦争法廃止・共謀罪阻止訴え

岐阜九条の会は9日、名鉄岐阜駅前で戦争法廃止、共謀罪法案提出反対の「9の日」行動を9人の参加で行いました。

事務局の吉田隆さん(67)らが交代でマイクを握り、「安倍政権は、南スーダン国連平和維持活動(PKO)の陸上自衛隊の日報に『戦闘』と記載されているものを『衝突』といい、共謀罪法案質疑に関して法務大臣が質問封じの文書を作成するなど、安倍政権の隠蔽(いんぺい)、質問封じ体質が浮き彫りとなった。

戦争法を廃止し、憲法も民主主義も無視する共謀罪は絶対に阻止しよう」と訴えました。

ピラを受け取った20代の女性は「なぜ、こういう活動をしているのですか」と質問。スタッフは「安倍政権が国民にウソを語り、数の力で悪法を通す暴挙に出ている。国民に真実を知ってもらい、反対することが重要です」と説明すると、「そんなんですか」と理解を示しました。40代の女性は「戦争はすぐ起きないと思うけど、なってからでは遅いから反対しないといけない」と話しました。